

## 第56回兵庫県行政書士会東播支部定時総会

第56回 東播支部定時総会（平成28年4月30日 小野市うるおい交流館エクラにて）

### 支部長のごあいさつ

兵庫県行政書士会東播支部

支部長 橋本 一 弘



晩夏の候、兵庫県行政書士会東播支部の皆様におかれましては益々ご健勝にて業務に御励みのこととお慶び申し上げます。また日頃より東播支部運営に際しましてご支援を賜り、誠にありがとうございます。そして今年4月に発生しました熊本大地震において被災されました方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

お互いに事務所経営を進めて行く上で、競争するということが大事なのは言うまでもありません。それぞれの事務所が互いに負けまいとして創意工夫をし、真剣な努力を重ねるならば、自他双方により良い成果が生まれてくると思います。ただしそのためには、その競争があくまでも正しい意味での競争でなければなりません。さもなければ、その競争はいわゆる過当競争になってしまっ、行政書士業界に大きな混乱を生み出すことになり

ます。競争というものは戦争のように相手を倒すものではなく、共存共栄のための競争といえますか、ともに成長し発展していくためのものでなければならないと思います。

早いもので、支部長に就任しまして1年となりました。皆様のご協力によりまして、4月30日に第56回東播支部定時総会を、藤岡正善支部長時代から35年ぶりに、小野市において開催することができました。

そして、厚生部の皆様のご尽力により、7月14日から4日間にわたり、東播支部55周年記念事業として「台湾研修旅行」を実施いたしました。何かと物騒な国際情勢の中での遠征となりましたが、東播支部初挑戦の海外研修を無事に堪能することができました。

また、昨年度から研修部の皆様のご努力で、東播支部の研修回数を倍増いただいておりますが、今年度もあと3回の研修会の開催を予定しております。ご協力、ご参加の程よろしく願いいたします。

最後になりましたが、「ぎょうせいはりま」発行にあたり投稿を賜りました皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に感謝申し上げますとともに、東播支部会員の皆様方の今後ますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

**行政書士は、まちの身近な相談相手**

## 第56回 東播支部定時総会が開催されました

会員 永崎久仁

平成28年4月30日(土)午後4時より「小野市うるおい交流館エクラ」において、第56回兵庫県行政書士会東播支部定時総会が開催されました。定刻に至り渡邊尚樹総務理事の司会のもと、上井秀勝副支部長による開会の言葉に続き、橋本一弘支部長が挨拶を述べました。続いて2016年4月14日以降、相次いで発生している熊本地震の被災者に対して黙とうを捧げ、総会は始まりました。

総会に先立って勤続20年以上の永年勤続者1名に支部より表彰と記念品の贈呈が行われました。次に、来賓である衆議院議員藤井比早之様、北播磨県民局局長貝塚史利様、兵庫県行政書士会副会長山下智子様より祝辞をいただきました。

審議に先立ち、土本正男会員が議長に選出され、議長より東播支部会員総数90名、会場出席者31名、委任状出席者37名、計68名により定足数を満たし、本総会が有効に成立した旨の宣言がありました。

議案第1号・第2号(平成27年度事業報告及び会務報告の件、平成27年度決算報告並びに監査の件)、議案第3号・第4号(平成28年度事業計画(案)の件、平成28年度収支予算(案)の件)は、執行部より説明

がなされ質疑応答の後、満場異議なく承認可決されました。その後、議案第5号(監事1名補欠選任の件)では新監事に三村良三会員が選任されました。最後に平成27年度の新入会員1名に挨拶をいただき総会は終了となりました。

総会後は出席会員で記念撮影を行い、懇親会では会員同士の談笑だけでなく、歌を歌ったりハーモニカ演奏が行われるなどして支部の交流が図られました。また、二次会も10名を超える参加者があり、大盛況のなか親睦を深めることができました。

第56回兵庫県行政書士会東播支部定時総会



## 行政書士による無料相談所

～やしろショッピングパークBio2階で毎月第2土曜日開催～

会員 植田真由子

昨年度より「やしろショッピングパークBio」で開設されることとなった「行政書士による無料相談所」ですが、本年度も引き続き同所にて無料相談所を開設しています。

相談所が移転されたばかりの昨年度に担当させていただいた時は、相談者がゼロの月もありましたが、先日6月11日の相談日には、3件の相談がありました。徐々に無料相談所の存在が認知されてきている印象をうけました。



普段、私は相続のご相談を受けることが多く、たまに離婚問題といったところになりますが、6月11日の相談は、相続、離婚問題のほか、家族のトラブルに関

して慰謝料請求をしたいが・・・といった、個人的には初めて受ける内容のご相談でした。

やはり、「無料相談」ということで、「どうしたらいいか全く分からない」といった方々が、「とりあえず相談しに行ってみよう」という、まず第一歩の窓口となり得ているのかなと思いました。行政書士がどんな業務内容をするのか分からず、また、相談内容が行政書士業務の範囲を越えるものであったとしても、ここまでは行政書士業務で、これ以上はどこに相談したらよいか、といった情報提供だけでも、行政書士の認知の向上につながっていると考えます。

また、今回の相談者は、3組のうち、2組が女性の方でしたので、相談員のなかに女性がいるというのは相談者にとって話しやすい雰囲気になっていたのではないかと思います。

最後になりますが、支部会員の皆様には、今後もこの無料相談所が周知されますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「運送事業の申請について」研修会に参加して

会員 野間 清史

平成28年2月15日午後2時より、西脇市茜が丘複合施設「みらいえ」において東播支部第4回支部研修会が「運送事業の申請について」をテーマとして、兵庫県行政書士会運輸専門部会・北谷眞三委員長を講師としてお招きし、明石支部からの出席者を含め13名の出席を得て開催されました。

研修会当日から遡ること、ちょうど1か月前に長野県において発生したスキー客を乗せた大型バスの事故、更には数年前に発生した関越道における高速バスの事故等々、旅客運送バスの相次ぐ大惨事を受けて旅客運送市場はもとより、社会全体から運送事業の安全性や健全経営が強く求められている中で行政書士が更に真摯に取り組むべき申請業務として、①運送事業の種類 ②その他の事業等 ③運送事業の新規許可申請 ④許可後、事業開始までの手続き ⑤事業開始後の手続き、等について資料に基づきながら具体的な事例を用いて分かり易い講義を熟考させていただきました。北谷講師の講義の中でも私が特に感銘を受けた教旨は「行政書士は、許可取得後のアフターケアもしっかり!!」でした。それを着実に実施する事が、事故の抑止策にもなり、ひいて

は運送事業会社の健全経営にも繋がっていく事になるであろうと認識する事が出来、加えて研修会に参加させていただいて行政書士が、運送事業の新規許可申請から許可後事業開始までの手続き・事業開始後の手続き、等々の申請業務を通じて果たすべき役割は、非常に重要であると確信を持つ事が出来ました。

講義に続いて、橋本支部長から「東播支部における平成27年度の支部研修は本研修会をもって最終となりますが、来年度の当支部の研修会は特徴のある内容の研修会開催を目指して、各行政機関や弁護士会等にも広く講師派遣を依頼していきたい」との閉会の挨拶があり、研修会を終了いたしました。



## 「暴力団情勢について・記帳代行業務 簿記の基礎知識」研修会に参加して

会員 岸本 一文

平成28年7月21日(木)に小野市うるおい交流館エクラにて開催された研修会に参加しました。

第一部「暴力団情勢について」では、小野警察署刑事生活安全課長金山義裕氏より、県内に本拠を構える暴力団6代目山口組及び神戸山口組についての生々しい情報をお聞かせいただきました。その情報の中には、行政書士の職務上請求書が私立探偵を経由して悪用された事件もありました。通常の業務では、暴力団との接点はあまりないようにも思えますが、業務を行う上で、知らずも事件等に巻き込まれる恐れのあることを認識し、改めて職務上請求書の取り扱いを厳重に管理し、適正な使用を心がけることが必要であると痛感いたしました。

第二部では阪神支部辻村さおり氏により「記帳代行業務の基本となる簿記の基礎知識について」と題し、今まで簿記を勉強したことがない等の初心者が見習い受任を目指すための研修でした。私は、自身の確定申告のために「会計ソフト」を約20年前より使用しておりますので簿記の知識は少しはあるつ

もりでした。研修内容が、「簿記の5要素」「貸借対照表」「損益計算書」「仕訳のルール」と進んで行き、最後にワークアウトの時間となりました。さて、いざワークアウトの仕訳を始めると、簡単な仕訳のはずが不慣れのためか意外と苦戦してしまいました。この経験を生かすためにもこれを良い機会とし「会計ソフト」に頼りきることなく、スムーズに仕訳ができるように、簿記を学習していきたいと考えています。



## コスモス成年後見サポートセンター・兵庫県支部 活動のご案内

～寸劇による広報活動について～

(一社) コスモス成年後見サポートセンター・兵庫県支部 企画部 大下 幸子

コスモス成年後見サポートセンターは、日本行政書士会連合会を母体として、平成22年に設立された一般社団法人です。

成年後見制度の活用を通じて、認知症や知的障がい・精神障がいのある方々の、権利擁護・福祉の増進に寄与し、個人の尊厳が守られる社会の実現を理念としております。現在は全国39府県（会員数1,846名）に支部を展開し、社会貢献活動に取り組んでいます。

我が兵庫県支部（愛称：コスモスひょうご・会員数55名）では、平成24年の設立以来、家庭裁判所をはじめとした関係官公署との信頼関係を築く他、全会員がより高い倫理観と後見人等を受任する能力を備えるべく、随時研修を行っております。

兵庫県民の皆様にとって、行政書士がより身近で信頼される存在となることを目指して、今後とも積極的に活動を行って参る所存です。

さて、行政書士会員の皆様は、既によくご存じのことではありますが、成年後見制度とは、認知症等により判断能力が不十分になった方の、生活や財産を守る制度です。

コスモスひょうごでは従来、セミナーや無料相談会による広報を行って参りましたが、一般の方によりわかりやすく成年後見制度をお伝えするため、27年度より“寸劇”を取り入れた活動を開始しました。

地域包括支援センターさん等のご協力を賜り、公民館等での出張上演をさせていただいております。こうした活動をきっかけに、包括支援センターさんや地域住民の方々との繋がりも生まれ、後見制度をご理解いただくツールとして、寸劇は有効な手段で

あるという思いを強くしています。

寸劇では、認知症になった親の不動産を子供が処分してもいいのか、昨今社会問題にもなっている保証人問題等、身近に起こり得る事柄を取り上げ、ご覧になる方に共感していただけるようなストーリー作りを心がけています。

現在、全国のコスモス支部で、寸劇を取り入れた広報活動が盛んになってきておりました、この7月には大阪支部の主催で、「寸劇の集い」が開催され、大阪・三重・兵庫の3支部が上演いたしました。

奈良や京都、滋賀といった近畿圏のみならず、遠く静岡・愛知・徳島・福岡支部の会員の方々も見学に来られ、関心の高さを実感しました。

受任等の結果を伴うまでには、今少し時間を要するかもしれませんが、これからも地域に根差した活動を継続して参ります。

東播支部の皆様、お近くの地域で、成年後見制度にご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にお声がけくださいませ。

今後とも、コスモスひょうごの活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号  
神戸クリスタルタワー13階

一般社団法人  
コスモス成年後見サポートセンター 兵庫県支部  
電話:(078)361-5363

☆コスモスひょうごでは、無料相談会を開催しております。（事前に予約が必要です）

### 兵庫県行政書士会及び行政書士会東播支部の慶弔規定

兵庫県行政書士会及び行政書士会東播支部には慶弔に関する規定があります。一定の要件を満たした場合に、会員もしくは家族から支部長を経由して請求することで、祝金や見舞金が支給されます。該当する場合は請求をお忘れ無きよう、お気を付けください。

#### 兵庫県行政書士会

・御見舞(災害・障害・入院)、御香料、結婚、出産、御祝儀(古希・喜寿・米寿等)

#### 行政書士会東播支部

・火災、風水害等の被災時、入院等、御香料、結婚

詳しくは同封の「慶弔見舞に関する内規」をご覧ください。

## 瑞宝双光章受章、おめでとうございます!

藤原 将 会員

警察や消防、自衛隊など危険性の高い業務に従事され、功績のあった方に贈られる「第26回危険業務従事者叙勲」が発表され、兵庫県行政書士会東播支部では藤原将会員が受章されました。

5月16日には皇居宮殿での拝謁に参内され、席順のめぐりあわせが良く、陛下の御前で式に臨まれたとのことでした。

藤原会員は退職までの42年間、兵庫県警に勤めておられました。最も印象に残っているのは鑑識課での業務だったそうです。最近でこそ鑑識課の仕事内容はメディア等で取り上げられており、皆さんもご存知かと思いますが、殺人事件の鑑識ではご遺体の解剖の立会いをされたり、「尼崎市の長崎屋火災」など数多くの事件・事故現場で現場検証もされたとのこと。昭和61年12月28日に香住町で発生した「餘部鉄橋列車転落事故」当時は、県警本部機動鑑識隊に勤務していたため、年末年始から1ヶ月間現地の公民館で寝起きし、降りしきる雪のなか

現場検証を行うなど大変な業務をされたそうです。

また阪神淡路大震災の時には東灘区、中央区に次いで死者・負傷者の多かった兵庫区の



餘部鉄橋列車事故合同捜査班の業績が認められ、警察庁長官表彰をいただいたそうです。

兵庫警察署管内に派遣され、懸命に救助にあたられました。震災直後は救助用資材が不足しており、また余震による二次災害の恐れがある状況下で、現場調達した自動車用ジャッキで倒壊した家屋を持ち上げ、丸太の柱を挟み込み、下から要救助者を引き出すというような救助活動もされたとのこと。 「事件・事故・災害現場での業務は大変だったのではないですか?」とお伺いしますと、「誰かがやらなければいけない仕事でしたので」と穏やかな口調で話しておられました。

ほとんど単身赴任状態で県内各地を飛び回っていた警察官時代とは異なり、退職された現在は地域の子も教室やデイサービスセンターで子どもたちや高齢者と触れあったり、趣味の写真や陶芸にいそしむなど、悠々自適の毎日だそうです。趣味のお話しになると、それまでの警察官時代の真剣な顔つきからいつもの藤原先生の優しい表情にもどっていたのがとても印象的でした。

東播支部では藤原会員に祝意を表し、祝い金・記念品を贈呈し、受章を心よりお祝いするとともに、藤原会員の今後ますますのご発展とご活躍を祈念いたします。



## 思い出・お気に入りの一枚

### 岩坪節男 会員

「花婿22歳、花嫁20歳、昭和47年2月14日、忘れようにも忘れることができないバレンタインデーが記念日です。

結婚した時に、今は亡き父が「子供を産むことができるかな?」と心配したくらいに細かった妻です。当時40数キロだったと思いますが、今は無き容姿です。

私も結婚太りで、ピーク時には84キロまで太りました。病気をしたりで今は64キロです。今は無き容姿の方と良い勝負では?。

いつの間にか45年になり、子供が5人、今年の10月で孫も10人目ができます。そうそう、この写真は田舎(鹿兒島)で身内だけの結婚式を挙げて神戸に帰る途中(新婚旅行気分)の別府温泉です。」



### 岸本憲明 会員

二歳の頃だと思います。岸本家16代目としての品と風格を早くも備えているという印象を受けるのは…私だけかも。

この後、健やかに成長なさいまして、近所でも有名な「知恵を持つ悪ガキ」としての時代を過ごし、青年期の紆余曲折の時期を経て、その後はどんどん「普通のオッサン」化して、時々「チョイ悪オヤジ」になったりして、今日を迎えております。

今の仕事についたのは、暗中模索の中、30歳の頃、アルバイトでこの業界に入ったことがきっかけでした。

これまでの30年間、これでよかったのかどうかは答が出ませんが、とにかく、常に誠実に業務をこなす事を心がけたことによるのか、この仕事で生活ができるようにはなりました。

しかし、時はすでに終盤に差し掛かり、他にやりたい事を山ほど残したまま現在に至っています。

自由業ではなく早くホントの「自由」になりたい。



## 研修旅行記 「温故知新」～故きを温ねて～

会員 村上 真理



中正記念堂



天燈上げ



忠烈祠



故宮博物院

雄大な自然とノスタルジックな下町の賑わいを同時に楽しめる国、台湾。そんな国へ3泊4日の日程で研修旅行へと旅立ちました。これから、その御報告をさせていただきたいと思えます。

〔1日目〕13時 関空より台北に出発。3時間弱で台北、桃園空港に到着しました。雨が降った後だったのか、比較的凌ぎ易い気温であり日本と変わらないな、と感じました。到着後、台北市内観光です。

まずは、総統府です。日本統治時代の1919年に建造され、現在は陸、海、空軍の最高司令部と行政府が置かれています。このようなところにも、まだ日本の統治時代の名残があります。次は、壮大なスケールの白亜の建築物、中正記念堂。この建物は、蒋介石（初代総統）の功績をたたえ建造されました。記念堂の両脇にはコンサートホール、オペラハウスがそびえたち、広大な敷地は、市民の憩いの場になっているそうです。その後は、士林夜市で、活気ある人々に圧倒されながら、マンゴーかき氷を堪能しました。

〔2日目〕朝、日差しのきつさと暑さに驚きつつも、バスに乗り込み、まずは忠烈祠に向かいます。ここは、戦争などで殉じた33万人の英霊を祀っている祭祀場です。と、いうよりも衛兵交代が見られる場所といったほうが有名でしょうか。衛兵交代を見学の後、故宮博物院に向かいます。今回の日程では、故宮博物院で有名な翠玉白菜も肉形石も、台南の故宮博物院に貸し出されていることもあり見ることはできませんでしたが、故宮博物院で一番価値のあるという毛公鼎（祭祀に使用する周時代の青銅器）をじっくり見学できました。

その後は、淡水、北投温泉に立ち寄り、足湯につかり、歩き疲れた足を癒してきました。

〔3日目〕台湾の暑さに体が慣れてきたとはいえ、熱中症対策に気が抜けないような気温です。とくにこの日は、朝から歩き回るコースでした。

## 編集後記

今号編集にあたり、たくさんの方々にお手伝いいただきました。携わってくださったみなさまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

(広報部 永崎)

バスで十分に到着後、天燈上げをしたのち、列車に乗り込み平溪線、バスと乗り継ぎ、金瓜石に移動します。金瓜石は日本統治時代にアジア屈指の金の採掘量を誇りましたが、発掘量の低下により閉山。この博物館に、作業安全の教本が展示されており、いつの時代にも労働者のための安全教育は、大切なのだと気づかされました。

次の目的地は九份です。九份は、「千と千尋の神隠し」のモデルになったことで有名です。多くの旅行者で賑っていますが、一番の見どころは山と海を一望できる自然景観です。この後、野柳風景区の奇抜な海岸景観を堪能しました。

〔4日目〕台湾最後の日は、遅めのスタートです。台湾の古い街並みを残す三峡地区の観光と陶器の町、鶯歌の街を見学し終え、桃園空港に到着。無事、20時、関空へと戻りました。

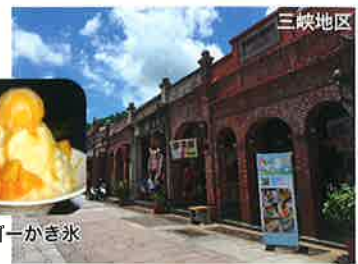
台湾の日本統治時代には、同化政策はありましたが、不正は少なく経済状態は、日本の地方都市を超えて東京と同水準にあったそうです。しかし、日本軍の撤退後は、治安が悪化し人々の不満が高まり「犬去りて、豚来る」と揶揄されたそうです。外国人に自国を統治されることなど、うれしい訳がありません。その過去にとらわれることなく、統治時代の建物を修復しつつ、使っている台湾の人々の心の広さ、また東日本大震災に多大なる支援をいただいたことに、ただ、ただ、感謝するばかりです。また、私自身、台湾の方々の日本滞在の手助けができる、行政書士という職業につけたということに喜びを感じた今回の研修旅行でした。



九份



マンゴーかき氷



三峡地区

## 東播支部会員動向 (平成28年8月1日現在)

会員数/89名

西脇市/23名・小野市/20名・加西市/19名

加東市/19名・多可郡/8名

## ぎょうせい はりま No77

発行日/平成28年8月10日

発行人/橋本一弘

発行者/兵庫県行政書士会 東播支部

〒675-1335 小野市片山町1332番地の1 橋本一弘事務所内  
TEL(0794)62-2377 FAX(0794)62-2374